

# 1月行事予定

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
				1 休館日	2 休館日	3 休館日
4 休館日	5 貯筋体操(ひまわり) 9:00~10:30 健康体操(山根会) 13:30~15:00	6 ストローエアロピック 19:00~21:00	7 貯筋体操 (スイートピー) 9:30~/10:30~	8	9 卓球クラブ 9:30~11:30 りょうりきょうしつ 10:00~	10 休日開館日 マインドフルネス瞑想会 10:30~11:30 卓球クラブ 13:30~15:00
11	12成人の日	13 太極拳 9:30~10:30	14 貯筋体操 (スイートピー) 9:30~/10:30~	15 ふれあい喫茶 9:30~	16 卓球クラブ 9:30~11:30	17
18	19 貯筋体操(ひまわり) 9:00~10:30 健康体操(山根会) 13:30~15:00	20 太極拳 9:30~10:30 ストローエアロピック 19:00~21:00	21 貯筋体操 (スイートピー) 9:30~/10:30~	22	23 卓球クラブ 9:30~11:30 卓球クラブ 13:30~15:00	24 休日開館日
25 休日開館日 生命尊重読書会 10:00~12:00	26 貯筋体操(ひまわり) 9:00~10:30 健康体操(山根会) 13:30~15:00	27 太極拳 9:30~10:30 マインドフルネス瞑想会 19:30~20:30	28 貯筋体操 (スイートピー) 9:30~/10:30~	29	30 卓球クラブ 9:30~11:30	31

※予定は変更になる場合があります。

## 【お知らせ】

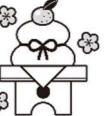
- 川之江ふれあい料理教室(第8回) 1月9日(金) 10時00分~
- ふれあい喫茶(第10回) 1月15日(木) 9時30分~

# かわのえ隣保館だより

2026年(令和8年)1月発行号 電話/FAX 0896-28-6254



## 【館長ごあいさつ】



みなさまがた  
あけましておめでとうございます。皆様方におかれましてはますます  
ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
昨年は米の供給量の不足にはじまり、近年稀に見ないスピードで米  
の価格が高騰しました。また、他の食料品等においても、軒並み値上げ  
傾向にありました。一方、実質賃金マイナスの状況が続いており、我々  
の生活へ多大な影響が出ました。本年は皆様方にとって明るい希望の指  
す年となりますようにと切に願います。

また、隣保館としましては、昨年同様に、地域社会全体の中で地域  
福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティ  
センターとして、生活上の各種相談業務や部落差別をはじめとするあら  
ゆる人権問題の解決のための各種事業を行ってまいります。

今年も各種サークル活動や隣保館事業において、多くの方にご参加い  
ただき、すべての垣根を超えた交流が図れるように、隣保館活動へのご  
指導、ご協力をいただけたらと思います。どうぞ今年も一年よろしく  
お願いいたします。

館長 山下 宏二

なや  
悩んでいることはありませんか?

隣保館は、「職場でのハラスメント」「職場や学校に行けない」など  
人権に関わる悩みを相談できる窓口です。

その他生活相談、職業相談等困っていることは何でも相談してください。

## ～職員ごあいさつ～

あけましておめでとうございます。

昨年中も変わらず多くの人と隣保館での出会いによりつながることができ、たくさんのこと들을学ばせていただきました。この隣保館で過ごす一日一日が自分にとってかけがえのない経験となっております。本年も昨年と同様に、年齢・性別・国籍等を問わず多くの人の交流で、隣保館が活気あふれる皆様の憩いの場になるように精進してまいります。どうぞ本年もよろしくお願ひいたします。

主事 西川 直輝

あけましておめでとうございます。

今年も隣保館が皆様にとっての「ふれあい・つながる場所」となりますよう、霧岡づくりに励みたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

主事補 加藤 真弓

## 「ふれあいのつどい」の開催について

### 《開催日程》

日時 令和8年2月22日(日)

13:00~16:00



内容 第一部(2階 大会議室) 13:00~14:30



1. お琴・尺八の演奏
2. 『ワン&オンリーのちの会 四国中央』活動報告
3. お楽しみ抽選会(第一部参加者に景品があたるかも)



第二部(2階 大会議室・1階 14:30~16:00)

1. お琴・尺八演奏体験会(2階大会議室)
2. いのちの誕生迷路体験(ワン&オンリーのちの会 四国中央)
3. シトラスみんなの応援隊ワークショップ
4. 輪投げ
5. お菓子つかみ取り
6. おもちゃくじ
7. ポップコーン、わたあめ



すべて無料

参加チケットは  
当日配布します

※内容は一部変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 差別はそっとしておいてもなくなる

同和問題をはじめとするあらゆる人権問題は、すべてにおいて理不尽で許されざるものであるということに変わりはありません。そっとしておいてなくなる人権・同和問題はあるのでしょうか？解決に向けて努力する人がいるから、減っていったり、なくなるものだと思います。「そっとしておいて」ということは差別を受けている人に「黙っておいてくれ」と言っているようなもので、その立場の人からすると「自分たちの苦しんでいる差別の現実を明かさないでくれ」と言われているように感じる人も少なくないように思います。今現在、差別は見にくくなっているだけで、そっとしておいても問題の本質を理解できません。さらに、インターネットなどに溢れる差別的な表現を正しいことのように認識してしまい、インターネットなどで起こる差別事象に加担してしまう可能性もあります。加えて、自分自身が正しく学んでいないと、子や孫などが学校で学ぶ正しい人権・同和教育に対して疑問すら持つのではないか。きっとそういう人は「知らないでもいいことを教えるから差別は広がるのだ。」と言うのでしょうか。これこそが「寝た子は起こすな」という誤った考え方につながります。

よく、自分には直接は関係ない問題だと、あくまでも自分は傍観者であるという人がいますが、差別には傍観者はいません。誰もが当事者であり、「差別を残す側」か、「差別をなくす側」どちらかになります。つまり、傍観者だと思っている人は差別を残す側になります。あなたはどちらに属したいですか？正しく学んで、差別をなくす側として、間違ったことを正していく方がいいと思いませんか？

例えば自分の子や孫がいじめられて、人知れず苦しい思いをして悩んで相談してきた子どもや孫に、「そっとしておけばそのうちいじめはなくなるよ。」と言えますか？きっと勇気をふり絞って家族に伝えたのに、その言葉によって、その子の心がへし折られてしまうかもしれません。それは他人事でもなく、いつその状況が自分自身に降りかかってくるかもしれません。また、最初から「私は差別しません。」などと言えるでしょうか。すべての問題はつながっています。解決できない問題もそれぞれの横の連携によって、人が様々な視点から見ることができます。

正しく学び、正しく伝えていかないと、自分や周りの家族などがネットなどの安易な発言により、誹謗中傷や差別を助長したりもしかねません。そのことを常に念頭に置いて、すべての問題も自分事として捉えて、一緒に差別をなくす側としてつながっていきましょう。

同和問題をはじめとするあらゆる人権問題は自分事として捉えてはじめて、なくす側としてつながる一歩になります。自分や自分の家族あるいは周りの親しい人が差別をしない、受けないためにも、すべての問題を自分に置き換えて、自分だったらどうするか、どうすればなくせるかを考えること、学び続けることで、自分がいかに行動すべきか見えてくるのではないでしょうか。そのためにも、学ぶ機会は待つのではなく自ら探し、自分から動いていきましょう。